



阪神・淡路大震災から30年 能登半島地震から1年 5市合同で震災対応訓練を実施

豊中市・吹田市・池田市・箕面市・摂津市が共同で運営を行う消防通信指令事務協議会は、阪神大震災から30年、能登半島地震から1年が経過した今、改めて、地震災害発生時における対応の確認と強化を図るため、北大阪消防指令センターで震災対応訓練を実施します。令和6年4月1日から5市で共同運用している北大阪消防指令センターで、震災対応訓練を実施するのは初めてとなります。

阪神・淡路大震災の当日は、平時の10倍以上にあたる1,000件を超える119番通報がありました。また、令和6年1月1日の能登半島地震では、被災地管轄の消防指令センターに、平時の30倍を超える119番通報がありました。過去の教訓を踏まえ、いつ起こるかわからない震災に対応できるよう、119番通報の受信体制の強化を図ります。

震災対応訓練の概要

【日 時】2月6日(木)9時30分から10時00分

【場 所】北大阪消防指令センター
(吹田市佐竹台1-6-3)

【訓練想定】

豊中市で震度6弱の地震が発生、近隣市町においても震度5強を観測し119番通報が輻輳

【内 容】

- ◇震災時の初動対応
- ◇119番多数入電時の対応
- ◇各市警防本部との連携



※ 取材を希望される場合は、2月4日(火)17時まで下記までご連絡ください。

【お問い合わせ先】

北大阪消防指令センター

担 当：高橋・高畑・熊澤 TEL:06-6155-5119

E-mail: shirei@city.toyonaka.lg.jp